



## 安全データシート

Copyright, 2018 3M

本情報は、マグアイアーズ™ 製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号	27-4568-5	版	1.00
発行日	2018/12/13	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 化学品の名称

マグアイアーズ™ エンデュランス™ タイヤジェル : G7516

#### 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

水生環境有害性（急性）：区分3

水生環境有害性（長期間）：区分3

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

適用しない。

##### シンボル

適用しない。

**ピクトグラム**

適用しない。

**危険有害性情報**

H412 長期継続的影響により水生生物に有害。

**注意書き**

**一般：**

P102 子供の手の届かないところに置くこと。  
P101 医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。

**廃棄**

P501 内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

**3. 組成及び成分情報**

成分	CAS番号	重量%
混合物（非有害性）	混合物	60 - 80
水素化石油留分	64742-47-8	10 - 20
ホワイトミネラルオイル（石油）	8042-47-5	10 - 20
鉛箔バックング	7439-92-1	0.000000928

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

#### 眼に入った場合

応急処置は不要。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災時：二酸化炭素又はドライケミカル消火器を使用する。

### 特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

### 有害な分解物または副生成物

物質	条件
ホルムアルデヒド	燃焼中
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中

### 消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域より退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、パーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

子供の手の届かないところに置くこと。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。この製品を使用する時には、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後は手指をよく洗うこと。環境への放出を避けること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

### 保管

容器をしっかり密閉しておくこと。日光から遮断すること。熱から離して保管する。酸から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
ジェット燃料(非エアロゾル)、 トータル炭化水素蒸気として	64742-47-8	ACGIH	TWA(トータル炭化水素蒸気、 非エアロゾルとして) : 200 mg/m <sup>3</sup>	A3: 確認された動物発 がん性因子, 経皮吸収 性
ケロシン(石油)	64742-47-8	ACGIH	TWA(トータル炭化水素蒸気、 非エアロゾルとして) : 200 mg/m <sup>3</sup>	A3: 確認された動物発 がん性因子, 経皮吸収 性
鉛箔バックング	7439-92-1	ACGIH	TWA(鉛として) : 0.05 mg/m <sup>3</sup>	A3: 動物発がん性物質
鉛箔バックング	7439-92-1	ISHL	TLV(鉛として)(8時間) : 0.05 mg/m <sup>3</sup>	
鉛箔バックング	7439-92-1	JSOH OELs	TWA(Pbとして)(8時 間) : 0.03 mg/m <sup>3</sup>	2B: ヒトに対して発が ん性の可能性がある。
鉍物油、高精製油	8042-47-5	ACGIH	TWA(吸入分画) : 5 mg/m <sup>3</sup>	A4: ヒト発がん性物質 として分類できない
鉍物油、高精製油	8042-47-5	JSOH OELs	TWA(ミストとして)(8時 間) : 3 mg/m <sup>3</sup>	

オイルミスト、ミネラル	8042-47-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m <sup>3</sup>	
-------------	-----------	-----------	--	--

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

## ばく露防止策

### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

### 保護具

#### 眼の保護具

特に必要としない。

#### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。

注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

#### 呼吸用保護具

換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。ばく露状況評価で吸入保護具が必要と判断された場合には、吸入防止手順に従って、以下のものから呼吸保護具を選択する。

有機ガス及び微粒子に適している半面形あるいは全面形ろ過式マスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観

液体

形状、色、臭い

紫色の透明の液体。甘いブドウ臭。

臭いの閾値

データはない。

pH

適用しない。

融点・凝固点

適用しない。

沸点、初留点及び沸騰範囲

185 °C

引火点

> 93.3 °C [試験方法：ペンスキーマルテン密閉式]

蒸発速度

データはない。

引火性（固体、ガス）

適用しない。

燃焼点（下限）

データはない。

燃焼点（上限）

データはない。

蒸気圧

データはない。

蒸気密度

> 1 [参照基準：空気 = 1]

密度

0.926 g/cm<sup>3</sup>

比重

0.926 [参照基準：水=1]

溶解度

データはない。

溶解度（水以外）

データはない。

n-オクタノール/水分配係数

データはない。

発火点

データはない。

分解温度

データはない。

粘度

500 - 850 mPa·s

モル重量

データはない。

揮発性有機化合物

0.3 重量%

水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)

311.42 g/l

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

### 化学的安定性

安定。

### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

### 避けるべき条件

熱。

#### 混触危険物質

強酸化性物質

強酸

#### 危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

#### 毒性学的影響に関する情報

##### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

##### 眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

##### 皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。

##### 吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

##### 飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い:ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い:ATEで計算。5,000 mg/kg
混合物 (非有害性)	皮膚	ウサギ	LD50 > 19,400 mg/kg
混合物 (非有害性)	経口摂取	ラット	LD50 > 17,000 mg/kg
水素化石油留分	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,160 mg/kg
水素化石油留分	吸入-粉塵/ ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 3 mg/l
水素化石油留分	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ホワイトミネラルオイル (石油)	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
鉛箔バックキング	皮膚		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

### 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
混合物 (非有害性)	ウサギ	刺激性なし
水素化石油留分	ウサギ	軽度の刺激
ホワイトミネラルオイル (石油)	ウサギ	刺激性なし
鉛箔バックキング	類似化合物	刺激性なし

### 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性



名称	生物種	値又は判定結果
混合物 (非有害性)	ウサギ	刺激性なし
水素化石油留分	ウサギ	軽度の刺激
ホワイトミネラルオイル (石油)	ウサギ	軽度の刺激
鉛箔バックング	類似化合物	軽度の刺激

### 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
水素化石油留分	モルモット	区分されない。
ホワイトミネラルオイル (石油)	モルモット	区分されない。

### 呼吸器感作性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

### 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
水素化石油留分	In vitro	変異原性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	In vitro	変異原性なし
鉛箔バックング	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

### 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
水素化石油留分	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホワイトミネラルオイル (石油)	皮膚	マウス	発がん性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし
鉛箔バックング	特段の規定はない。	公的な分類	発がん性

### 生殖毒性

### 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
----	----	---------	-----	------	-------

ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/day	13 週
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/day	13 週
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/day	妊娠期間中
鉛箔バックキグ	特段の規定はない。	雌性生殖機能に有毒	ヒト	LOAEL 10 ug/dl blood	
鉛箔バックキグ	特段の規定はない。	雄性生殖機能に有毒	ヒト	LOAEL 37 ug/dl blood	
鉛箔バックキグ	特段の規定はない。	発生機能に有毒	ヒト	NOAEL 非該当	

## 標的臓器

### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
水素化石油留分	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
水素化石油留分	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
水素化石油留分	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 適用しない。	
鉛箔バックキグ	経口摂取	神経系	臓器障害のおそれ	ヒト	LOAEL 90 ug/dl blood	中毒ないし乱用時
鉛箔バックキグ	経口摂取	心臓	区分されない。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時

### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	造血器系	区分されない。	ラット	NOAEL 1,381 mg/kg/day	90 日
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	肝臓   免疫システム	区分されない。	ラット	NOAEL 1,336 mg/kg/day	90 日
鉛箔バックキグ	吸入した場合	腎臓および膀胱	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ヒト	LOAEL 60 ug/dl blood	職業性被ばく
鉛箔バックキグ	吸入した場合	造血器系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ヒト	LOAEL 50 ug/dl blood	職業性被ばく
鉛箔バックキグ	吸入した場合	神経系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ヒト	LOAEL 40 ug/dl blood	職業性被ばく
鉛箔バックキグ	吸入した場合	消化管	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
鉛箔バックキグ	吸入した場合	心臓   内分泌系   免疫システム   脈管系	区分されない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

鉛箔バックング	経口摂取	骨、歯、爪及び/又は毛髪	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 20 ug/dl blood	3 月
鉛箔バックング	経口摂取	眼	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 0.5 mg/kg/day	20 日
鉛箔バックング	経口摂取	造血管系   腎臓および膀胱	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ヒト	LOAEL 40 ug/dl blood	環境暴露。
鉛箔バックング	経口摂取	神経系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ヒト	LOAEL 11 ug/dl blood	環境暴露。
鉛箔バックング	経口摂取	聴覚系   心臓   内分泌系   脈管系	区分されない。	ヒト	NOAEL 非該当	環境暴露。

### 吸引性呼吸器有害性

名称	値又は判定結果
水素化石油留分	吸入有害性
ホワイトミネラルオイル (石油)	吸入有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

### 生態毒性

#### 水生毒性 (急性)

GHS水生環境有害性 (急性) 区分3 : 水生生物に有害。

#### 水生毒性 (慢性)

GHS水生環境有害性 (長期間) 区分3 : 長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
混合物 (非有害性)	混合物		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
水素化石油留分	64742-47-8	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	1 mg/l
水素化石油留分	64742-47-8	ニジマス	推定値	96 時間	致死レベル 50%	2 mg/l
水素化石油留分	64742-47-8	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	1.4 mg/l

マグアイアーズ™ エンデュランス™ タイヤジェル : G7516

水素化石油留分	64742-47-8	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	1 mg/l
水素化石油留分	64742-47-8	ミジンコ	推定値	21 日	NOEL	0.48 mg/l
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	>100 mg/l
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	ブルーギル	実験	96 時間	致死レベル 50%	>100 mg/l
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	>100 mg/l
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	ミジンコ	推定値	21 日	NOEL	>100 mg/l
鉛箔バックキング	7439-92-1	藻類	実験	72 時間	EC50	0.105 mg/l
鉛箔バックキング	7439-92-1	鯉	実験	96 時間	LC50	0.44 mg/l
鉛箔バックキング	7439-92-1	甲殻類	実験室	48 時間	LC50	0.53 mg/l
鉛箔バックキング	7439-92-1	ニジマス	実験	578 日	NOEC	0.003 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
混合物 (非有害性)	混合物	データ不足			N/A	
水素化石油留分	64742-47-8	データ不足			N/A	
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	0 重量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
鉛箔バックキング	7439-92-1	データ不足			N/A	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
混合物 (非有害性)	混合物	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
水素化石油留分	64742-47-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
鉛箔バックキング	7439-92-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

土壌中の移動性

データはない。

#### オゾン層への有害性

データはない。

### 13. 廃棄上の注意

#### 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

### 14. 輸送上の注意

船舶安全法、航空法の危険物に該当しない。 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

### 15. 適用法令

本SDSの適用法規の内容は、2018年7月1日施行の改正労働安全衛生法に基づいて記載されています。

#### 主な法規制物質

	法規名		
成分	安衛法通知政令番号	P R T R 政令番号	毒物及び劇物取締法
水素化石油留分	380 (灯油) 551 (ミネラルスピリット (ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。))	該当なし。	該当なし。
ホワイトミネラルオイル (石油)	168 (鉱油)	該当なし。	該当なし。

#### 日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：施行令別表第6の2 有機溶剤

労働安全衛生法：施行令18条有害物質 (表示物質)

消防法：指定可燃物 (可燃性液体類)

労働安全衛生法：施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物

## 16. その他の情報

### 改訂情報

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。